

営農君のいきいきアドバイス

果菜類の病害虫対策 ～農薬以外の防除方法について～

まもなく、トマトやキュウリなど果菜類の定植時期となります。栽培する際、病気や害虫の被害は避けられないのが実情です。防除で農薬をあまり使いたくない方、こんな点に気をつけて栽培してみませんか。

1. 品種の耐病性と接ぎ木

種苗メーカーは育種の際、病気などに強い品種をかけ合わせて新しい品種をつくることがあります。現在JA経済店舗などで販売されている果菜苗の品種は特定の病気に耐性があるものが多く、品種自体が病気に強くなっています。しかし、ナスやスイカのように耐性がないものもあります(表1)。これらの品目では土壌病害の軽減などのため接ぎ木(台木品種に接ぐこと)苗が販売されています(表2)。トマト、キュウリ、メロンでも同じ理由で接ぎ木苗が一般に販売されています。土壌病害が気になる方(たとえば、ナスで半身萎凋病が発生するなど)は価格がやや高めですが、接ぎ木苗の購入をお勧めします。なお、接ぎ木苗は発病を抑制するもので、発病しないわけではありません。

また、苗を購入する際は、病気や害虫のない健全な苗を選びましょう。

表1 主な品種の耐病性など

野菜の種類	主な品種名	耐病性など
トマト	桃太郎	トマトザイクウイルス、萎凋病、半身萎凋病、斑点病、ネブセチユ
	ホーム桃太郎	トマトザイクウイルス、萎凋病、半身萎凋病、ネブセチユ他
	麗夏*	トマトザイクウイルス、萎凋病、葉かび病、斑点病、ネブセチユ他
トマト(中玉)	フルティカ	トマトザイクウイルス、葉かび病、斑点病、ネブセチユ
	ルイ60	トマトザイクウイルス、萎凋病、葉かび病、斑点病、ネブセチユ他
	レッドオーレ	トマトザイクウイルス、萎凋病
トマト(ミニ)	アイコ*	萎凋病、葉かび病、斑点病
	CFココ	トマトザイクウイルス、萎凋病、葉かび病、斑点病、ネブセチユ他
キュウリ	夏すずみ	べと病、うどんこ病
ナス	千両二号	—
スイカ	夏武輝	—

1) JAあきがわ直売所で昨年販売されていた主な品種を示しました。

他の販売品種も概ね同様な特性をもっています。

2) 耐病性は種苗会社カタログより転記。*は抵抗性と記述

—: 耐病性は特になことを示す

表2 接ぎ木苗の台木の耐病性など

野菜の種類	台木	耐病性など
ナス	ナス台木	半身萎凋病、青枯病、半枯病
スイカ	ユウガオ台木	つる割病など

1) JAあきがわ直売所で昨年販売されていた主な接ぎ木苗を示しました。

2. 資材を活用する

白黒マルチやシルバーマルチはアブラムシ類やアザミウマ類の忌避効果があり、発生が抑制されます。また、トマトでは雨よけ栽培を行うと疫病などの発生や裂果(実が割れる)が軽減されます。これらの資材は大型のホームセンターで販売されています。JAの各経済センターでも注文を承っています。

3. 輪作をする

果菜類の多くは連作すると土壌病害の発生などで生育が悪くなります。昨年栽培した場所は避け、何年か作付けしないようにしましょう。科が同じ野菜(ナス科: トマト、ナス、ピーマン、ウリ科: キュウリ、スイカ、メロン)も避けましょう。空ける期間は一般的にキュウリでは2~3年、トマト、ナス、メロン、スイカなどでは3~5年程度とされています。

4. よく観察して摘葉や摘果を

「しばらく見ないうちに葉に白いカビが付いた」「下葉にアブラムシがたくさん付いている」といった声がよく聞かれます。病害虫は早いうちに対処すれば被害を最小限にすることができます。栽培している野菜をこまめに観察してみましょう。キュウリのうどんこ病(写真1)は下葉から症状がでてきます。生育に影響のない範囲で、病気葉や害虫が付いた葉を取る摘葉やオオタバコガの幼虫などが侵入した果実(写真2)をとる摘果を行いましょう。なお、取り除いた葉や果実、または抜いた株は伝染源になりますので畑や庭に放置しないでください。



写真1 キュウリうどんこ病



写真2 オオタバコガ